

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	現代文総合				
教科	国語科	単位数	3単位	学年・コース	高校2年・特別選抜(文系)
使用教科書	精選論理国語・精選文学国語				
副教材等	「新演習 現代文アチーブ2」「現代文百字要約ドリル 基礎編」 「三訂新版 セレクト漢字検定5級ー2級」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

文章を読み取る力、「どういうことか」問題、「なぜか」問題に答える力、要約する力を身に付けることを目標とする。各単元の中で、評論やエッセイでは読解して要約する力、小説では場面状況と登場人物の心情を読み取る力を身に付ける。また論理国語の範囲では各単元に登場するキーワードに注目し、そのテーマに関する知識を身に付けることも併せて目標とする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	論理力と思考力 納得の構造 情報のメタ化		10月	ひよこの眼 神様 病と科学 動的平衡	第2学期中間考査
5月	夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について 詩はいつでも近いところにある ぬくみ	第1学期中間考査	11月	ゲノム編集とiPS細胞 ミロのヴィーナス 空白の意味 「である」ことと 「する」こと	
6月	ネット上の発言の劣化について マルジャーナの知恵 世代間倫理としての環境倫理学		12月	ありとぎりぎりす 戯曲中の対話 書く女	第2学期期末考査
7月	人類による環境への影響 山月記 少年という名前のメカ	第1学期期末考査	1月	こころ 捨てない女 なぜに答えられない科学	
8月			2月	AI時代の人間 市民のイメージ 文学のお仕事	
9月	記号を使う動物 言葉がつくる女と男 詩歌		3月	お砂糖とスパイスと爆発的な何か 小説はどう読めばいいのか	第3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [定期考査の「知識・技能」配当の問題の正答率]
 ② 思考・判断・表現 [定期考査の「思考・判断・表現」配当の正答率]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 授業参加、提出物、検定受験等の主体的学習活動]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	現代文総合				
教 科	国語科	単位数	4単位	学年・コース	高校2年・進学(文系)
使用教科書	精選論理国語・精選文学国語				
副教材等	「新演習 現代文アチーブ2」「現代文百字要約ドリル 基礎編」 「三訂新版 セレクト漢字検定5級－2級」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

文章を読み取る力、「どういうことか」問題、「なぜか」問題に答える力、要約する力を身に付けることを目標とする。各単元の中で、評論やエッセイでは読解して要約する力、小説では場面状況と登場人物の心情を読み取る力を身に付ける。また論理国語の範囲では各単元に登場するキーワードに注目し、そのテーマに関する知識を身に付けることも併せて目標とする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	論理力と思考力 納得の構造 情報のメタ化		10月	ひよこの眼 神様 病と科学 動的平衡	第2学期中間考査
5月	夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について 詩はいつでも近いところにある ぬくみ	第1学期中間考査	11月	ゲノム編集とiPS細胞 ミロのヴィーナス 空白の意味 「である」ことと 「する」こと	
6月	ネット上の発言の劣化について マルジャーナの知恵 世代間倫理としての環境倫理学		12月	ありときりぎりす 戯曲中の対話 書く女	第2学期期末考査
7月	人類による環境への影響 山月記 少年という名前のメカ	第1学期期末考査	1月	こころ 捨てない女 なぜに答えられない科学	
8月			2月	AI時代の人間 市民のイメージ 文学のお仕事	
9月	記号を使う動物 言葉がつくる女と男 詩歌		3月	お砂糖とスパイスと爆発的な何か 小説はどう読めばいいのか	第3学期期末考査

3. 学習評価について（観点・評価場面設定・年度末評定）

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | |
|-----------------|--------------------------------------|
| ① 知識・技能 | 定期考査の「知識・技能」配当の問題の正答率 |
| ② 思考・判断・表現 | 定期考査の「思考・判断・表現」配当の正答率 |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | 授業参加、提出物、検定受験等の主体的学習活動
漢字検定への取り組み |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します。

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	古典総合				
教科	国語科	単位数	3単位	学年・コース	高校2年・特別選抜(文系)
使用教科書	精選古典探究古文編・漢文編				
副教材等	「新しい古典文法」「漢文必携」「新国語総合ガイド」 「新体系 古文・漢文の演習グレード2」「みるみる覚える古文単語300+30」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

古典文学作品を読解する力の養成を目標とする。教科書の各題材を複数時間をかけてじっくり読解する。本文の口語訳の確認と読解法の解説の両方を同時進行的に行う。文章構造(主語の把握と接続助詞)を理解し、古典助動詞の用法と口語訳を少しずつ覚え、最終的に語彙を増やして、文章読解力を少しずつ向上させる。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	博雅の三位と鬼の笛(十訓抄) 小野篁、高才のこと(宇治拾遺) 大江山(古今著聞集)		10月	漢詩 源氏物語(藤壺の入内) 源氏物語(北山の垣間見)	第2学期中間考査
5月	画竜点睛(歴代名画記) 病入膏肓(春秋左氏伝) 徒然草	第1学期中間考査	11月	大鏡 鴻門の会(項羽本紀) 四面楚歌(項羽本紀) 項王最期(項羽本紀)	
6月	方丈記 竹取物語 伊勢物語・大和物語		12月	漁父辞(古文真宝) 春夜宴桃李園序(古文真宝)	第2学期期末考査
7月	杞憂(列子) 塞翁馬(淮南子) 呉越同舟(孫氏)	第1学期期末考査	1月	更級日記 建礼門院右京大夫集 平家物語	
8月			2月	古事記 和歌十六首 論語・孟子	
9月	枕草子(すさまじきもの) 枕草子(中納言参り給ひて) 枕草子(雪のいと)		3月	荀子・老子・莊子 桃花源記(陶淵明集) 売鬼(千宝) 日本の漢詩文	第3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [定期考査の「知識・技能」配当の問題の正答率]
② 思考・判断・表現 [定期考査の「思考・判断・表現」配当の正答率]
③ 主体的に学習に取り組む態度 授業参加、提出物等の主体的学習活動]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	古典総合				
教 科	国語科	単位数	4単位	学年・コース	高校2年・進学(文系)
使用教科書	精選古典探究古文編・漢文編				
副教材等	「新しい古典文法」「漢文必携」「新国語総合ガイド」 「新体系 古文・漢文の演習グレード2」「みるみる覚える古文単語300+30」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

古典文学作品を読解する力の養成を目標とする。教科書の各題材を複数時間をかけてじっくり読解する。本文の口語訳の確認と読解法の解説の両方を同時進行的に行う。
文章構造(主語の把握と接続助詞)を理解し、古典助動詞の用法と口語訳を少しずつ覚え、最終的に語彙を増やして、文章読解力を少しずつ向上させる。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	尊雅の三位と鬼の笛(十訓抄)	第1学期中間考査	10月	漢詩 源氏物語(藤壺の入内) 源氏物語(北山の垣間見)	第2学期中間考査
	小野篁、高才のこと(宇治拾遺)				
	大江山(古今著聞集)				
5月	画竜点睛(歴代名画記)	第1学期中間考査	11月	大鏡 鴻門の会(項羽本紀) 四面楚歌(項羽本紀) 項王最期(項羽本紀)	
	病入膏肓(春秋左氏伝)				
	徒然草				
6月	方丈記	第1学期中間考査	12月	漁父辞(古文真宝) 春夜宴桃李園序(古文真宝)	第2学期期末考査
	竹取物語				
	伊勢物語・大和物語				
7月	杞憂(列子)	第1学期期末考査	1月	更級日記 建礼門院右京大夫集 平家物語	
	塞翁馬(淮南子)				
	呉越同舟(孫氏)				
8月		第1学期期末考査	2月	古事記 和歌十六首 論語・孟子	
9月	枕草子(すさまじきもの)	第1学期期末考査	3月	荀子・老子・莊子 桃花源記(陶淵明集) 売鬼(千宝) 日本の漢詩文	第3学期期末考査
	枕草子(中納言参り給ひて)				
	枕草子(雪のいと)				

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [定期考査の「知識・技能」配当の問題の正答率]
② 思考・判断・表現 [定期考査の「思考・判断・表現」配当の正答率]
③ 主体的に学習に取り組む態度 授業参加、提出物等の主体的学習活動]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	国語総合研究				
教科	国語科	単位数	3単位	学年・コース	高校2年・特別選抜(理系)
使用教科書	精選論理国語・精選文学国語・精選古典探究古文編・漢文編				
副教材等	「新演習 現代文アチーブ2」「現代文百字要約ドリル 基礎編」 「三訂新版 セレクト漢字検定5級ー2級」「みるみる覚える古文単語300+30」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

文章を読み取る力、「どういうことか」問題、「なぜか」問題に答える力、要約する力を身に付けることを目標とする。古典分野では本文を口語訳する力を身に付ける。論理国語の範囲では各単元に登場するキーワードに注目し、そのテーマに関する知識を身に付けることも併せて目標とする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	論理力と思考力 納得の構造 情報のメタ化		10月	杞憂 悲田院の堯蓮上人は 病と科学 動的平衡	第2学期中間考査
5月	博雅の三位と鬼の笛 画竜点睛 小野篁広才のこと	第1学期中間考査	11月	ゲノム編集とiPS細胞 ミロのヴィーナス 空白の意味 「である」ことと 「する」こと	
6月	ネット上の発言の劣化について マルジャーナの知恵 世代間倫理としての環境倫理		12月	塞翁馬 世に従はん人は 呉越同舟	第2学期期末考査
7月	人類による環境への影響 大江山 病入膏肓	第1学期期末考査	1月	花は盛りに 漢詩 なぜに答えられない科学	
8月			2月	AI時代の人間 市民のイメージ ゆく河の流れ	
9月	記号を使う動物 言葉がつくる女と男 あだし野の露消ゆる時なく		3月	安元の大火 かぐや姫の昇天	第3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [定期考査の「知識・技能」配当の問題の正答率]
 ② 思考・判断・表現 [定期考査の「思考・判断・表現」配当の正答率]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 授業参加、提出物等の主体的学習活動]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和7年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	国語総合研究				
教 科	国語科	単位数	3単位	学年・コース	高校2年・進学(理系)
使用教科書	精選論理国語・精選文学国語・精選現代の国語・精選言語文化				
副教材等	「新演習 現代文アチーブ2」「現代文百字要約ドリル 基礎編」 「三訂新版 セレクト漢字検定5級ー2級」				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

文章を読み取る力、「どういうことか」問題、「なぜか」問題に答える力、要約する力を身に付けることを目標とする。論理国語の範囲では各単元に登場するキーワードに注目し、そのテーマに関する知識を身に付けることも併せて目標とする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	論理力と思考力 納得の構造 情報のメタ化		10月	月の誤訳 奥の細道 病と科学 動的平衡	第2学期中間考査
5月	空き缶 土佐日記 臥薪嘗胆	第1学期中間考査	11月	ゲノム編集とiPS細胞 ミロのヴィーナス 空白の意味 「である」ことと 「する」こと	
6月	ネット上の発言の劣化について マルジャーナの知恵 世代間倫理としての環境倫理		12月	論語 日本語の部屋 自然をめぐる合意の設計	第2学期期末考査
7月	人類による環境への影響 待ち伏せ 木曾の最期	第1学期期末考査	1月	和歌 マイクロディベート なぜに答えられない科学	
8月			2月	AI時代の人間 市民のイメージ 生物と無生物のあいだ	
9月	記号を使う動物 言葉がつくる女と男 雑説		3月	ヒトゲノムの意義 命は誰のものなのか	第3学期期末考査

3. 学習評価について(観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [定期考査の「知識・技能」配当の問題の正答率]
 ② 思考・判断・表現 [定期考査の「思考・判断・表現」配当の正答率]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 授業参加、提出物等の主体的学習活動]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します